



玉名高等学校附属中学校 Q&A

Q1 玉名高校との併設型中高一貫教育校として、どういうメリットがありますか。

A1 玉名高校附属中学校は、玉名高校との併設型中高一貫教育校です。本校の大きなメリットは次の2つです。

1つは、玉名高校へ進学する際の高校入試がありませんので、その分、時間的な余裕があります。高校入試を目指した勉強に時間を費やす必要はありませんので、中学生の時から、高校や将来の大学進学を見据えた学習に取り組むことができます。授業、総合的な学習の時間（探究の時間）、行事、それぞれの場面で、将来を見据えた学習に取り組んでいます。

授業や総合的な学習の時間（探究の時間）には、高校の先生からより専門性の高い、質の高い授業を受けることができます。

2つめは、玉名高校の中にあるという環境を最大限に生かせるということです。中学生の時から、高校生との交流をしたり、高校生向けの講演等を聞いたりすることができます。中学1年生と高校1年生とのピアサポート（交流を通じた支え合い）や中学3年生と高校2年生とのピアサポート、キャリア教育講演会などです。

図書館で他の中学校にはない専門性の高い本や資料を利用したり、高校の進路指導室にある大学や職業に関する資料などを利用することもできます。



Q2 体育祭や文化祭などの行事は、玉名高校と一緒に行的のですか。

また、玉名高校附属中学校独自の行事には、どんなものがありますか。

A2 入学式や卒業式などの式典、体育祭や若駒祭（文化祭）などの学校行事、その他、キャリア教育講演会などを玉名高校と一緒に行的っています。一緒に行的行事でも、中学生の発達段階や体力に配慮していますので、全く玉名高校生と同じことをするわけではありません。

玉名高校附属中学校独自の行事もたくさんあります。中でも、1年次の新入生宿泊研修（2泊3日）、2年次の修学旅行（3泊4日）、3年次のイングリッシュ・キャンプ（1泊2日）は、本校独自の内容がとても充実しています。

Q3 部活動は、玉名高校の部活動と一緒に活動するのですか。

A3 体育系では、男子サッカー、バドミントン、女子バスケットボール、ソフトテニス、陸上競技、柔道、剣道、硬式テニスの8つ、文化系では、器楽(吹奏楽)、音楽(合唱)、書道、美術、科学の5つの部が活動しています。

ほとんどの部活動は、高校と中学校とでは別々に活動していますが、柔道、剣道、硬式テニス、器楽、音楽、書道、美術は、玉名高校の教員から指導やアドバイスを受けています。



Q4 同じ小学校から進学する生徒が少ないので、友達ができるのか心配しています。大丈夫でしょうか。

A4 現在、1年生から3年生までを含めて、生徒の出身小学校は50校に及んでいます。1つの小学校から、1人しか本校に入学・在籍していないという生徒もいます。入学後、様々な経験を通して、友達をつくっているようです。

また、友達づくりやクラスづくりのため取組を数多く行っています。

1年次には、親睦を大きな目的とした新入生宿泊研修(2泊3日)や、高校1年生との交流を通して相談したりアドバイスを受けたりすることができるピアサポートという取組を行っています。

その他にも、生徒会が主体的に行う生徒朝会や縦割り班活動など、全学年で行っています。3年次には、玉名高校2年生(玉名高校附属中学校出身)とのピアサポートを行い、交流を通して玉名高校進学に向けてアドバイスを受けたりします。

Q5 授業についていけるか心配しています。学習塾に行った方がよいのでしょうか。



A5 学習塾に行くかどうかを含めて、学習に対する意識や向かう姿勢、実際に家庭での学習がどのくらいできているかなど、生徒の様子は一人一人異なりますので、学習面で心配なことがあれば、早め早めに担任まで相談をしてください。

学習は授業が中心ですので、予習、復習を織り込んだ学習をどういう形で行うのか、教科担当者とも協力して、最善の方法を一緒に考えていきたいと思っています。日ごろの授業を通して宿題もありますので、時間を有効に使いながら自主的に学ぶ力を育むことが、とても大切になります。

Q6 昼食はお弁当持参ということですが、お弁当が準備できないときには、どうしたらいいのですか。

A6 お弁当を持参することが原則ですが、校内の売店ではパンやお弁当を販売していますので、購入することができます。学校行事の関係で売店が開いていないときには、特別に外出を許可し校外で購入することを認めています。

ほとんどの生徒が毎日水筒を持参していますが、売店では、飲料水と牛乳を購入することもできます。

Q7 玉名高校へ進学する際には、高校入試が無いと聞いていますが、その分は何をするのでしょうか。

A7 玉名高校進学後のことや将来の大学進学を考えて、授業や探究活動（調べ学習、研究など）に取り組んでいます。

授業では、中学校の内容にとどまらずに、高校の内容に踏み込んだより質の高い学習に取り組めます。

探究活動では、大学の学部学科について調べたり、色々な職業について調べたり、自分自身の興味関心や知的好奇心と将来の進路を結びつけることができるよう、色々な取組を行うことができます。

将来を考えるととても大切な時間として活用できます。



Q8 玉名高校進学後、玉名高校附属中学校出身の生徒と他の中学校出身の生徒では、授業内容などで違いがありますか。

A8 玉名高校附属中学校から玉名高校へ進学する生徒を「中進生」、他の中学校から玉名高校へ進学する生徒を「高進生」と呼んでいます。中進生と高進生との大きな違いは2つあります。

1つは、クラス編成です。高校1年次、中進生のみのクラスが2クラス、高進生のみのクラスが5クラスです。

2年次以降は、進路受験を見据えた文系・理系に分かれてのクラス編成となりますので、同じクラスに中進生、高進生の両方の生徒がいることになります。現在の高校2年生、3年生は、文系が4クラス、理系が3クラスです。

2つめは、授業の展開や内容です。玉名高校附属中学校における先取り学習（質の高い

授業、より深く広い学び)を活かすために、授業でより発展的な内容を取り扱ったり、習熟度別の授業展開を行ったりしています。特に、数学・英語では重点的に行っています。



高校1年次には、中進生のクラスで、玉名高校附属中学校での先取り学習を活かした授業や総合的な学習の時間（探究の時間）が可能となります。

高校2年次では、文系・理系に分かれます。それぞれで、習熟度別の授業展開（アドバンスクラス、スタンダードクラスなど）を行いますが、玉名高校附属中学校以来の先取り学習の流れをさらに活かした授業を行うことになります。

アドバンスクラスは、必然的に中進生の割合が高くなります。アドバンスクラスには高進生も入ることができますが、授業内容に追いつくための努力が必要です。中進生、高進生、お互いに切磋琢磨しながら、学びを深めていきます。

※ 生徒一人一人の夢実現のために、クラス編成や授業内容については、大学入試制度を見据えて、随時、検証・検討を進めています。

Q9 玉名高校進学後、玉名高校附属中学校出身の生徒と他の中学校出身の生徒と一緒に活動することはありますか。

A9 入学式や卒業式などの式典、体育祭や若駒祭（文化祭）などの学校行事、部活動や生徒会活動などでは違いはありません。みんな一緒に活動しています。

玉名高校進学後、玉名高校附属中学校の1年生や3年生と交流し、自分自身の経験や思いを伝えることでアドバイスを送るピアサポートという取組を行っています。